

発行所 田代村公民館
電話 2 番の乙
発行責任者 湯ノ谷米吉
編集責任者 小川 兵一
鹿屋市曾田町 6647
印刷所 南日本新聞鹿屋支社
電話 88-08-126 番

四十日の擧げ終ひた。休みのよい／＼
 略えて小中學校も新学期が開始さ
 れた。台風五号も颯々来り一時は
 どうなるかと気がかりな一時し
 た。大きなことと気づけ終りまし
 が幸に大した事もなく終りまし
 て休み中は村内各學校共に何等の異
 状もなく仕當でした。児童生徒の
 休みに於ける生活訓練について
 親自らの課題解着となり何等子
 供には收穫もなく形だけの課題完
 結となつて仕舞うです。それよ
 くよく休みの事を反省して生
 活設計の完全に出來なかつた者は
 其の理由を明らかにして今後に処
 した方がより効果的であると思
 います。子供自体にも自らの生活設
 計を行かねばなりません。休
 みの生活設計實踐の中には
 眞に尊いものもあり又大に努力
 するものもあるかと思
 います。これらの事については先
 方は個々にて課題なり作品
 なり十分調査研究され、新期指
 導資料にされることも多い事

經濟課長

新動向

生活指導については、親は如何に指導を与へ得たか又児童生徒の中に自らの生活設計を完全に終つた子供もあり又色々な事情で始めた生活設計室中途で終つたものもあるかと思ひます。休暇の終りに近づくと共に子供も親も課題の完了に気が付く親は子をせめて立てて子供に心落ち付かず急に無理な勉強をつづけ遂には子供達の勉強で生活に力が行へばならぬのです。明日から學校と云ふ時になつて學習用具も散乱し家の隅々まで探して廻ることもよくある勝てずが休み中に自由な生活をつけた子供達には新学期を迎え又時間的な生活に入るのこれまで休み中の考へ方をかえ一日も早く性情をなくし充実した一日一日の學習が展開

縣に於ては本年度から更に理想郷にして各町村各小組合の營務所に當り飽くまで初期の目的を達成するため町村各小組合の指導者又は中心人物の養成を計り之講習會等を開催する外以下述べ如き事を特に重点として取上げ居ります。

1、縣郷市町村に『經濟自立化教育』

二角二

<p>一、農村婦人と農協協同組合 農家の婦人は老力を合せて、私達の立場を改善し、生き甲斐のある生活を送り、又男性の協力を求め、明らこれを助けたいし、家が庭、明るいことを期しあけるためには、やりたいことが沢山あります、とところで農協協同組合は、組合の事業によつて農協の改善をし、共同で農作物を賣つたり、農産用品や生活用品を買つたり、金ををづけたり、借りたり、その他いろいろのことを共同で行つて、農家の経済を豊かにし、生活を向上してゆくにために、私達農家がづくつてゐる組織です。ですから農協は私達農家の婦人のものであるわけで</p>	<p>す。 私達は農協についてもつと深い関心を持ち、研究し、私達の役目を果たしたり、私達の立場を改善するために農協を充分利用すること、そして農協をよく理解し、農協の役職員と話し合ひ、農協の事業や経営に婦人の声を採り入れるようにしてゆくことによつて、私達の立場を改善することに役立てねばならぬと思ひます。</p>	<p>二、農村婦人部の性格と組織について 農村婦人部の組織は、農協協同組合に</p>	<p>附し、婦人が農協運営に参加し、農協を利用し、農協の事業に力を入れることにより、農協の改善や、生活の改善を行い、農協の経済を豊かにし婦人の地位を高め、家庭生活、農村文化の向上計るための協同団体です。</p>
<p>三、農協協同組合は、組合の事業によつて農協の改善をし、共同で農作物を賣つたり、農産用品や生活用品を買つたり、金ををづけたり、借りたり、その他いろいろのことを共同で行つて、農家の経済を豊かにし、生活を向上してゆくにために、私達農家がづくつてゐる組織です。ですから農協は私達農家の婦人のものであるわけで</p>	<p>▲性格 1、自主的な農村婦人の組織で</p>	<p>2、農協の事業を推進する組織あり</p>	<p>3、政治的には中立の組織です</p>
<p>四、農村婦人部の性格と組織について 農村婦人部の組織は、農協協同組合に</p>	<p>▲農村婦人部機能 1、農協運動を推進し</p>	<p>2、農協運動に協力し</p>	<p>3、農協運営に助言し</p>

- 1、採用人員
陸上自衛官 約20,000名
海上 // // 1,600
航空 // // 1,500
- 2、年令
自昭和4年10月 2日 の出生者
至//11年10月10日
- 3、受付期間
自昭和29年8月16日
至昭和29年9月30日
- 4、試験
自昭和29年10月15日
至昭和29年10月28日
筆記、面接、身体検査
- 5、入隊
昭和30年2月上旬又は
昭和30年1月上旬
- 6、その他
詳細は役場へ

田代音頭

田代婦人会歌

左記に依り、田代重頼と、田代婦人会歌を募集致します。

茲々本月末が締切りになつて居ります。何卒皆さへ御寄稿下さいますようお願い致します。

一、原稿締切 九月三十日
二、応募資格 一切制限しない。
三、節 数 五節以内とする
四、応募詞数 制限しない。

調整について

調整について

国縣及び市町村の行政責任者を
選ぶ資格が登載される基本選挙人
名簿は毎年九月十五日現在で調整
し、十二月二十日確定、その後一
年間の総ての選挙に用いられる訳
であります。が、従来の結果から見
ますと、委員会側においても、部
落小組合長さん方の手を煩はす一
方、住民登録簿或は世帯台帳等相
当綿密な調査をなし、登載したつ
もりにも拘らず、投票日になつて
相当数の脱落者が発見され、尊い

完遂へ

生

完遂へ

貯蓄目標

白風五号は、既に襲来しました。これから先もずっと油断はできません。その上、今年は、降雨続きで、農作物の、作柄も、今から、案ぜられております。準備貯蓄の成績は？

それらの、目標に、対して、今の状況です。

「フレ」金詰り、ひし／＼とつて来ました。

昭和29年8月15日

部落名	口 数	貯 蓄 金 額	予 定 目 標 額	成績 歩合 %
下	38	19,400	197,200	9.8
馬 場	32	26,600	145,800	18.2
東之原	15	10,900	93,400	11.6
長 谷	33	41,400	146,600	28.2
西中郡	60	12,600	256,300	4.9
栗中郡	38	47,500	247,500	19.2
橋之口	71	62,000	376,600	16.5
中 村	38	25,000	140,700	18.0
山 下	27	39,300	216,300	18.1
岩 崎	43	55,100	244,300	22.5
表 木	59	85,100	279,200	30.5
折小野	26	23,900	87,900	27.2
山之口	28	19,900	141,000	14.1
西大原	45	44,500	178,500	24.9
東大原	29	19,100	112,000	17.0
中 尾	20	7,500	91,300	10.4
鞆 田	37	63,900	131,700	48.5
内之牧	24	8,600	78,900	10.8
官行山	32	9,700	39,050	24.5
鶴戸野	27	31,400	63,300	49.6
久木野	21	14,800	54,200	27.3
壁 山	38	7,200	32,170	22.4
富 田	21	6,100	8,190	74.4
平 石	42	50,400	310,000	16.2
柴 立	50	36,800	418,930	8.7
上柴立	41	20,400	221,100	9.2
上 原	42	37,200	296,700	12.6
原 沢	20	15,400	92,700	16.6
池 野	42	50,500	261,400	19.5
瀬戸口	31	27,100	95,700	28.3
越ヶ倉	46	136,600	243,400	56.1
烏 淵	35	35,200	102,100	34.4
皇 淵	44	50,000	210,000	23.1
郷ノ原	35	28,400	217,100	13.0
辺志切	30	33,300	183,200	18.1
錫 園	57	78,800	414,300	19.0
計	1,317	1,281,600	6,428,800	19.9

一男が欠けたる風が選挙の因縁にお定りの様に見受られていた様であります。

名簿は十月三十一日までで閉巻し、十一月五日から十五日間の縦覧が可能です。

口、禁固以上の刑に処せられその執行を終るまでのもの
ハ、選挙関係犯罪により執行猶予中のもの。

監罪問が与えられて居り、脱逃願
 望の場合には、異議申立救済施設が
 取られて居りますので、右の如き
 失態は委員会のみが負うべきもので
 はなく、有権者の皆様方の責任
 もあるものと存じます。

二、調整期間日等
 調整現在期日
 九月十五日
 調整期間
 十月三十一日まで
 縦覧期間

十一月五日から十五日間
異議申立期間
樺置期間中、文書で
異議申立決定期間
申立の日より二十日以内
確定期日
十二月二十日

概要以上の通りであります。

次に名簿調整の諸要件等を述べますと。

一、資格

①、年令満二十年以上たること

②、名簿の確定期日十二月二十日より算定するので、昭和九年十二月二十一日以前の出生者

又九月、即ち十五日まで新聞社、放送局、選挙運動、縣市町村等各種団体共催により、公明週刊報強固週間とし街頭録音、放聲座談会等放遊による啓発、新聞による啓発或は弁論大会、標語募集、学童作品の募集等全国を通じてこれが運動を展開する予定となつていますので、

2、本村の区域内に引続ぎ、三ヶ月以上の住所を有するもの名簿の開設期日、現在九月十五日で算定するので、昭和二十九年六月十六日以前から引続ぎ、村内に居住するもの。

3、次のものは権利を有しない

何卒御協力下さる様お願い申し上げます。



